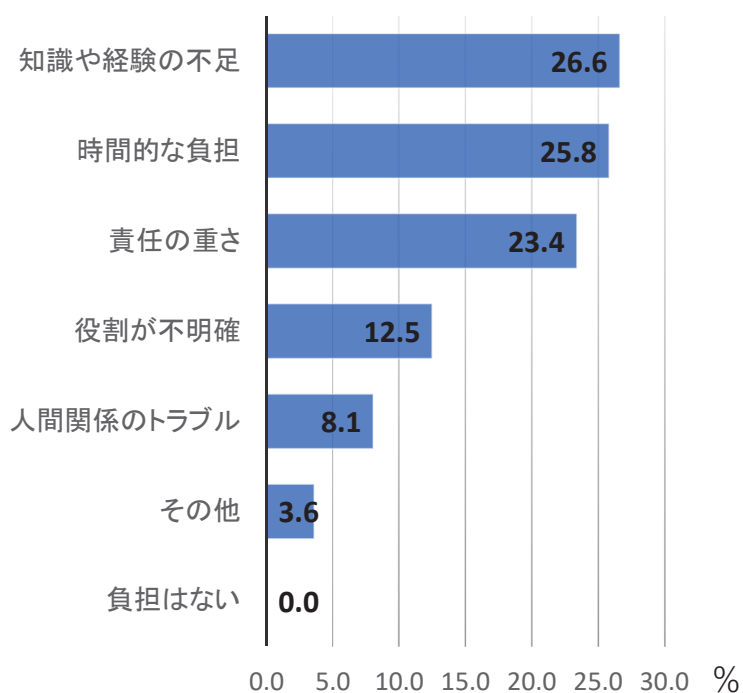


Q1 自治会の役員を引き受けるにあたり負担に感じるものは何ですか？（複数回答可）



自治会の役員を引き受けるにあたり負担に感じるものについて、「知識や経験の不足」が26.6%で最も多く、次いで「時間的な負担」が25.8%、「責任の重さ」が23.4%の順に多い。

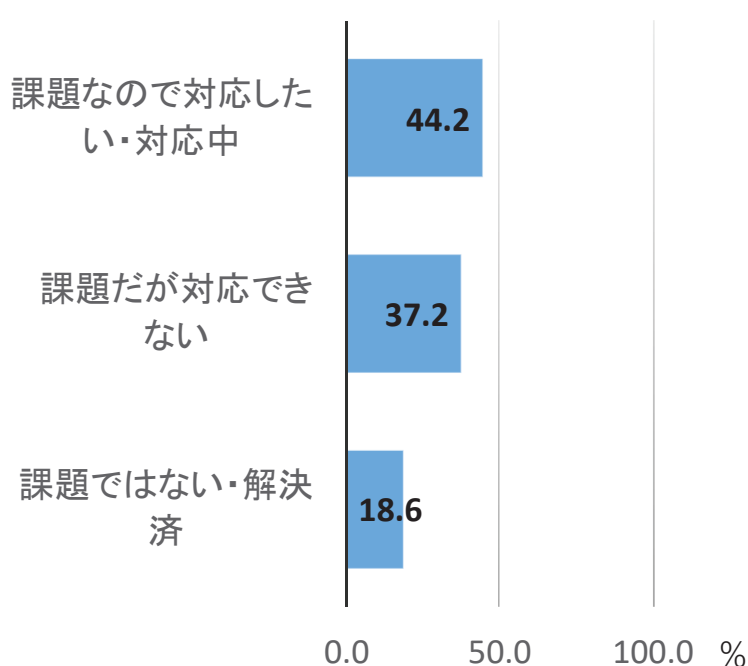
自由記述まとめ

Q1-1 役員を引き受けやすくするために必要なこと

- ・ 役員の仕事を減らす
- ・ 役割の明確化と簡素化
- ・ 報酬や待遇の見直し
- ・ イベントの削減と効率化
- ・ 働く人も参加しやすい環境づくり
- ・ 情報共有と助け合いの体制強化 など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

① 役員の後継者不足



役員の後継者不足については、課題感を持つ役員が多い

役員の後継者不足について、「課題なので対応したい・対応中」が44.2%で最も多い。

次いで、「課題だが対応できない」が37.2%である。

自由記述まとめ 「① 役員の後継者不足」

Q2-①-1 対応したい内容、対応中の内容

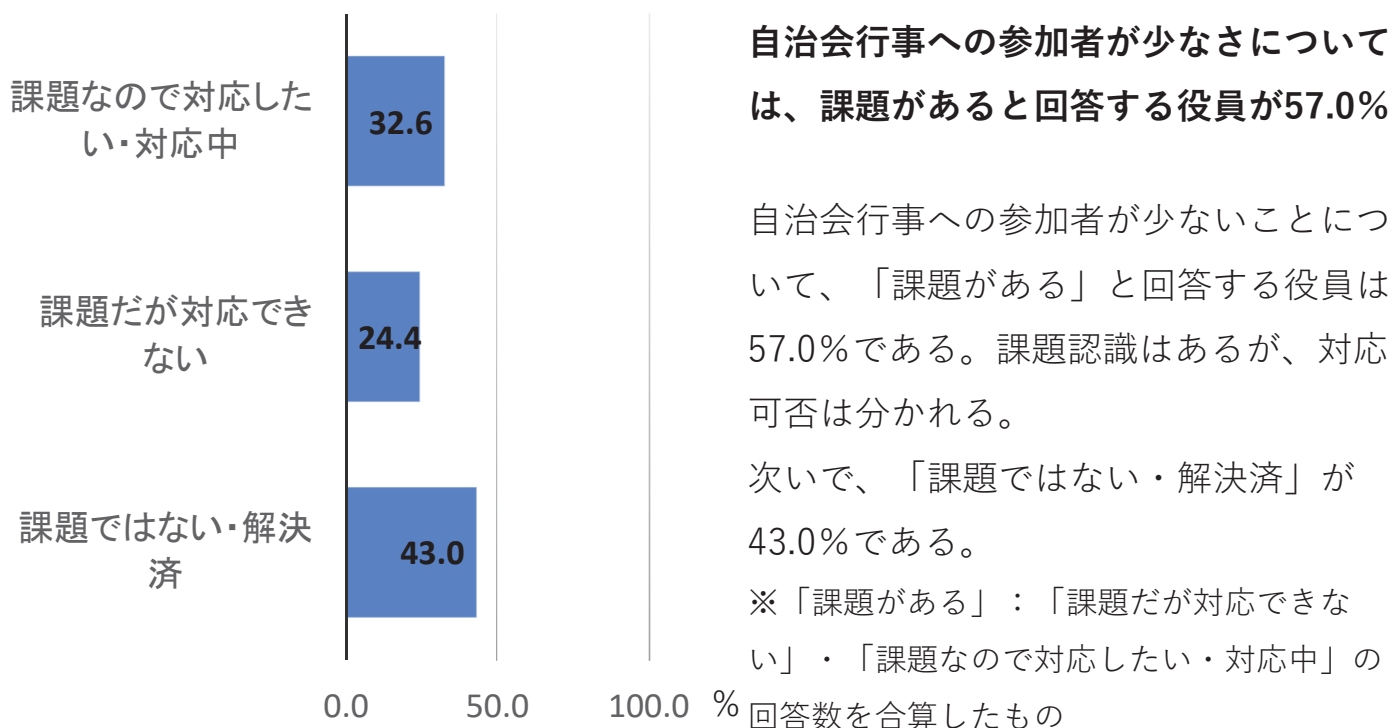
- ・ 会議の縮小などにより拘束時間の軽減
- ・ 次期役員を選出の方法（輪番制導入、理解促進など）
- ・ 後継者の育成と具体的な引継ぎ計画
- ・ 自治会活動の重要性の周知 など

Q2-①-2 対応できない理由

- ・ 認知や理解の不足
- ・ 人手不足や負担の大きさ（生活への圧迫など）
- ・ 報酬などのモチベーション
- ・ 役員選出の難しさ（任意団体であることや賛同が得られにくいなど）

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

② 自治会行事への参加者が少ない



自由記述まとめ 「② 自治会行事への参加者が少ない」

Q2-②-1 対応したい内容、対応中の内容

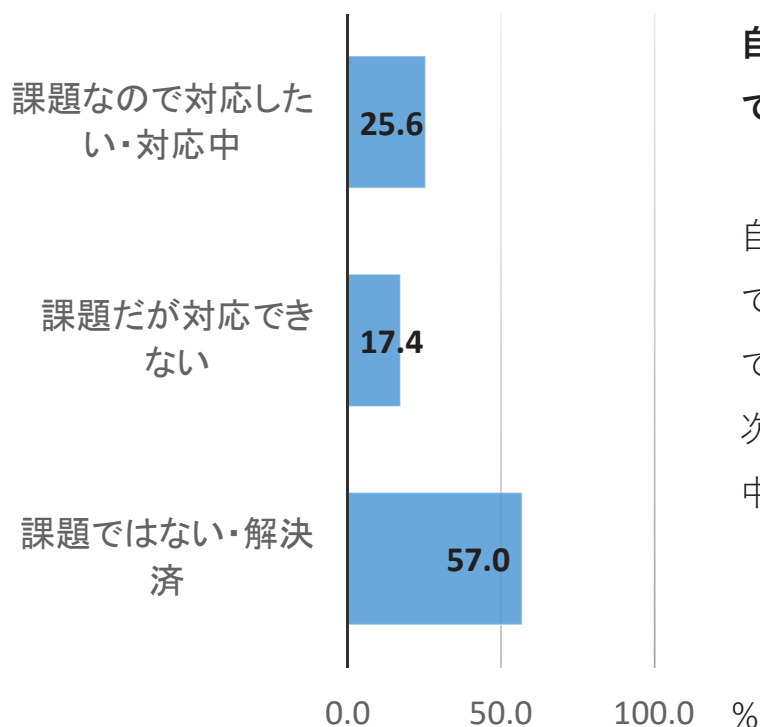
- ・ 参加促進・関心向上
- ・ 広報活動の強化
- ・ 役員や運営の負担を軽減
- ・ 個別アプローチ など

Q2-②-2 対応できない理由

- ・ 魅力不足や無関心
- ・ 参加意欲の欠如
- ・ 人員不足
- ・ 協力意識の欠如

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

③ 自治会運営に協力者が少ない



自治会運営に協力者が少ないことについては、課題感が少ない。

自治会運営に協力者が少ないことについて、「課題ではない・解決済」が57.0%で最も多い。

次いで、「課題なので対応したい・対応中」が、25.6%である。

自由記述まとめ 「③ 自治会運営に協力者が少ない」

Q2-③-1 対応したい内容、対応中の内容

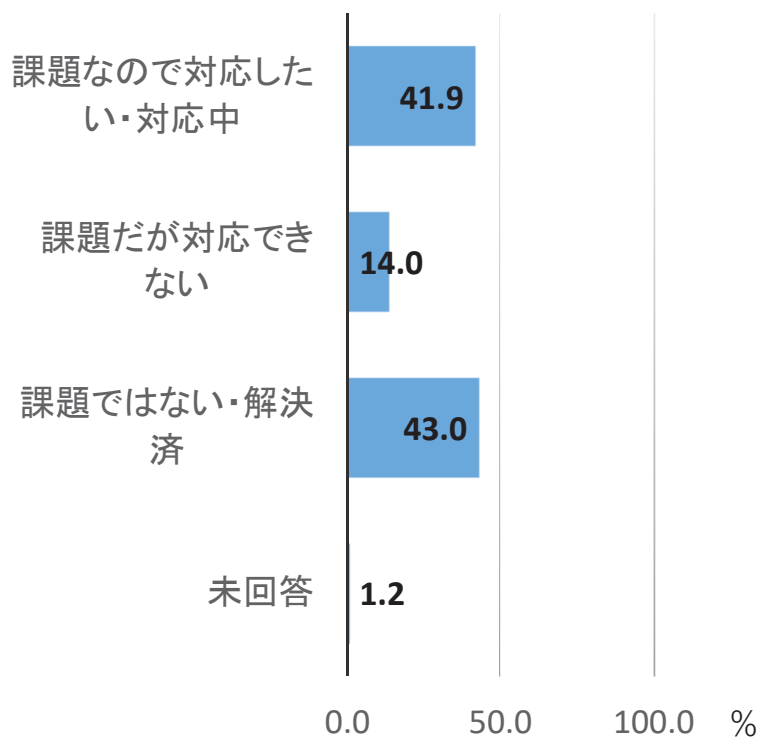
- ・ 行事の見直し
- ・ 広報の強化（自治会運営に関するイメージの改善など）
- ・ 役割分散により平等に役員になる仕組みづくり など

Q2-③-2 対応できない理由

- ・ 負担が重い
- ・ 役員選出の難しさ（やりたがらない など）
- ・ 自治会活動への興味関心の希薄化

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

④ 行事の見直し



行事の見直しについては、課題があると回答する役員が55.9%で、うち7割が「対応したい・対応中」

行事の見直しについて、「課題がある」が55.9%である。

次いで、「課題ではない・解決済」が43.0%である。

※「課題がある」：「課題なので対応したい・対応中」・「課題ではない・解決済」の回答数を合算したもの

自由記述まとめ 「④ 行事の見直し」

Q2-④-1 対応したい内容、対応中の内容

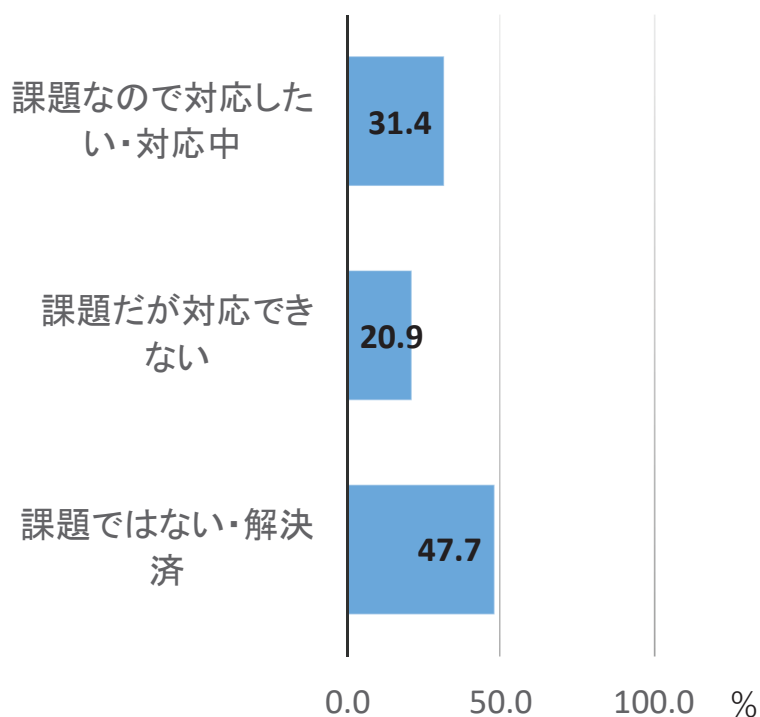
- ・ 内容の見直し（開催日程や行事の順位付け）
- ・ 内容の簡略化と少人数化 など

Q2-④-2 対応できない理由

- ・ 1年任期により継続的な見直しが難しい
- ・ 慣例

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑤ 事務作業の効率化



事務作業の効率化については、課題感を抱える役員の割合が52%

事務作業の効率化について、「課題がある」と感じている役員の割合は52%である。しかし、対応の可否は分かれる。

※「課題がある」：「課題だが対応できない」・「課題なので対応したい・対応中」の回答数を合算したものの

自由記述まとめ 「⑤ 事務作業の効率化」

Q2-⑤-1 対応したい内容、対応中の内容

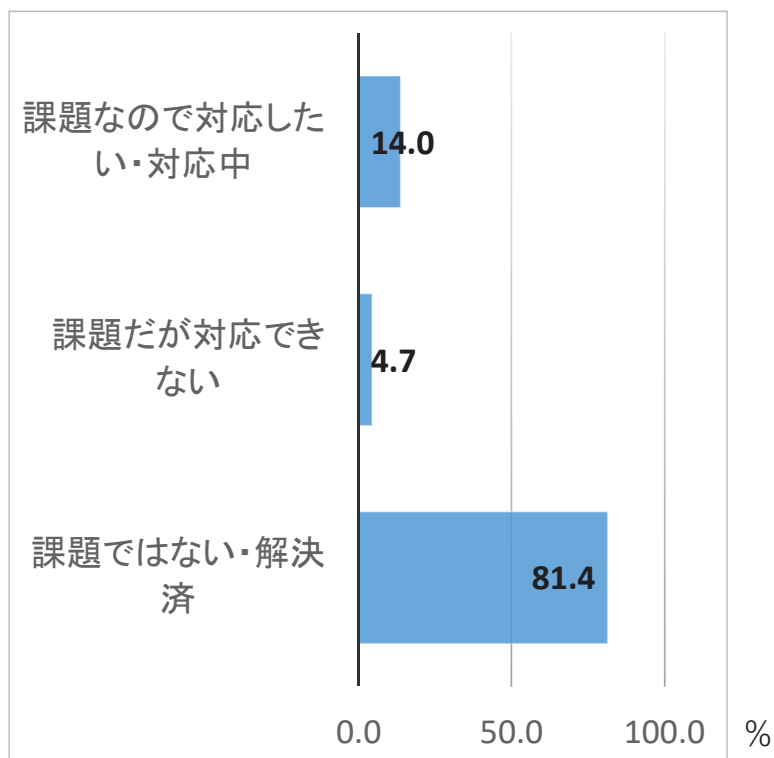
- ・ 会議や報告書などのペーパーレス化
- ・ 公会堂等の環境整備 (Wifi)
- ・ 事務作業を専任化または協力者を増やす など

Q2-⑤-2 対応できない理由

- ・ 例年通りを望む
- ・ パソコンが苦手 (役員のPCスキルに差がある) など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑥ 役員同士のコミュニケーション円滑化



役員同士のコミュニケーション円滑化については、課題感が少ない

役員同士のコミュニケーション円滑化について、「課題ではない・解決済」が81.4%で最も高い。

自由記述まとめ 「⑥ 役員同士のコミュニケーション円滑化」

Q2-⑥-1 対応したい内容、対応中の内容

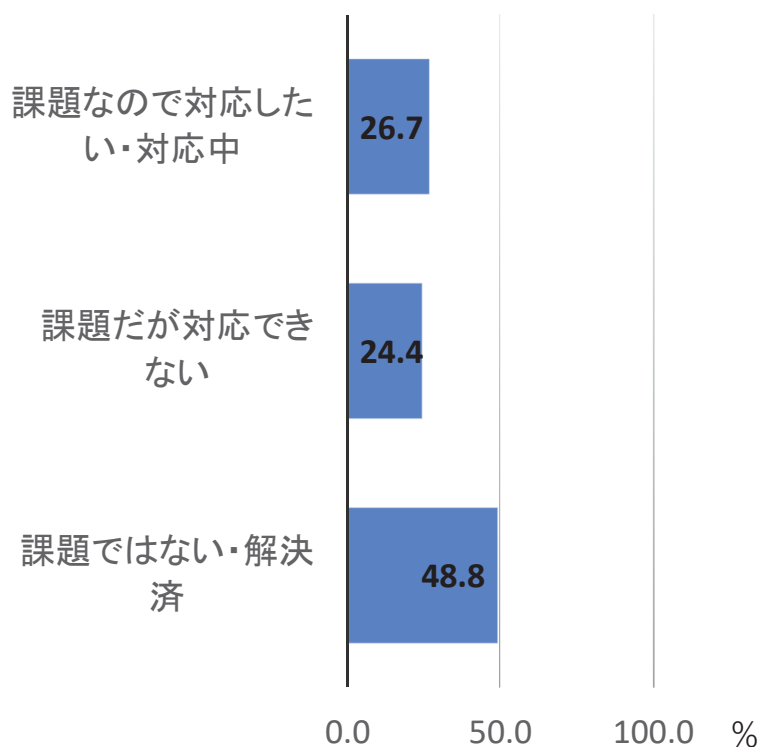
- ・ 無作為に選ばれたメンバーであることから、できるだけ役員の考え方や立場(都合など)を共有して、お互いに理解し合えるようにする など

Q2-⑥-2 対応できない理由

- ・ 人やメンバーによる

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑦ 役員構成(人数、任期、選出方法など)



役員選出については、課題があると回答する役員が51%

役員選出について、「課題がある」と感じている役員の割合は51%である。ただし、対応の可否は半数に分かれる。

※「課題がある」：「課題だが対応できない」・「課題なので対応したい・対応中」の回答数を合算したもの

自由記述まとめ 「⑦ 役員構成(人数、任期、選出方法など)」

Q2-⑦-1 対応したい内容、対応中の内容

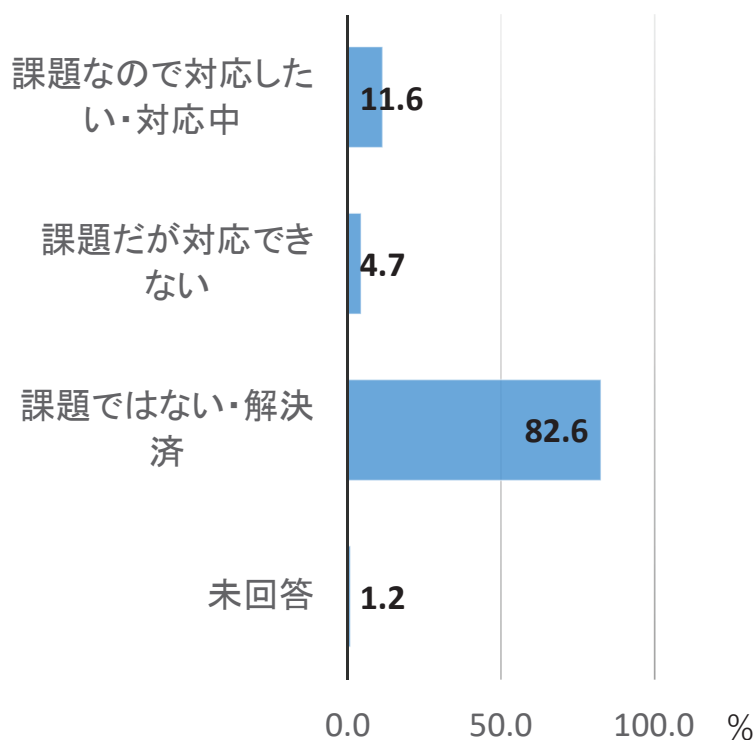
- ・ 選出方法の見直しや周知
- ・ 会計担当役員を設け、会長の負担を軽減
- ・ 任期の見直し
- ・ 女性の登用（副会長2人は男女1:1と決める） など

Q2-⑦-2 対応できない理由

- ・ 雇用延長と高齢化により担い手不足

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑧ 自治会費の集金方法



自治会費の集金方法については、課題感が少ない。

自治会費の集金方法について、「課題ではない・解決済」が82.6%で、最も多い。

自由記述まとめ 「⑧ 自治会費の集金方法」

Q2-⑧-1 対応したい内容、対応中の内容

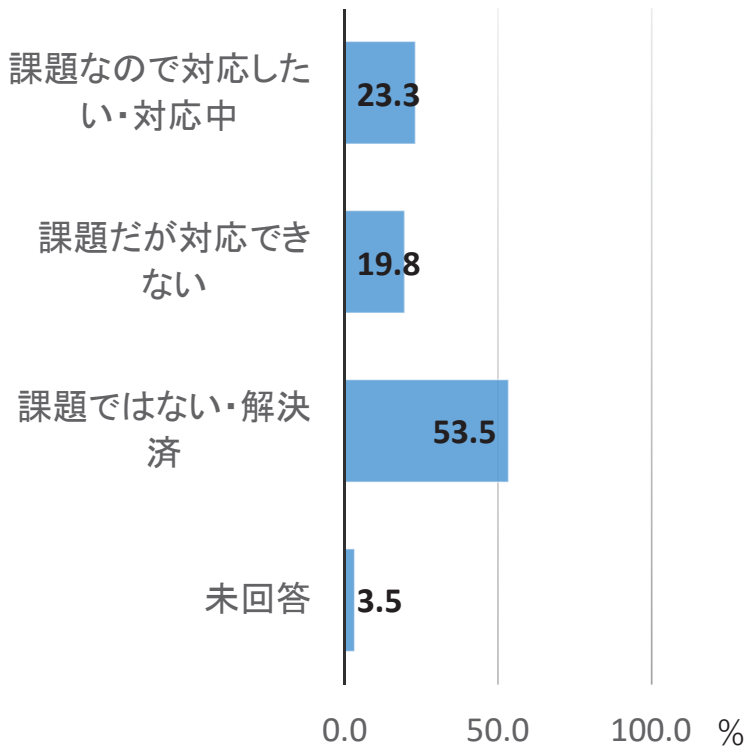
- ・ 募金の集金方法の見直し
- ・ 銀行振込などによる作業軽減
- ・ 対応が難しい人への対応（アパートの住民もしくはは大家や外国人、超高齢者） など

Q2-⑧-2 対応できない理由

- ・ 銀行振込のハードルが高い

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑨ 公会堂等の整備計画の作成や見直し



公会堂等の整備計画の作成や見直しについては、「課題ではない・解決済み」が最も多いが、課題があると回答する役員も次いで多い

公会堂等の整備計画の作成や見直しについて、「課題ではない・解決済」が53.5%で最も多い。しかし、「課題がある」と感じている役員の割合は43%である。

※「課題がある」：「課題だが対応できない」・「課題なので対応したい・対応中」の回答数を合

自由記述まとめ 「⑨ 公会堂等の整備計画の作成や見直し」

Q2-⑨-1 対応したい内容、対応中の内容

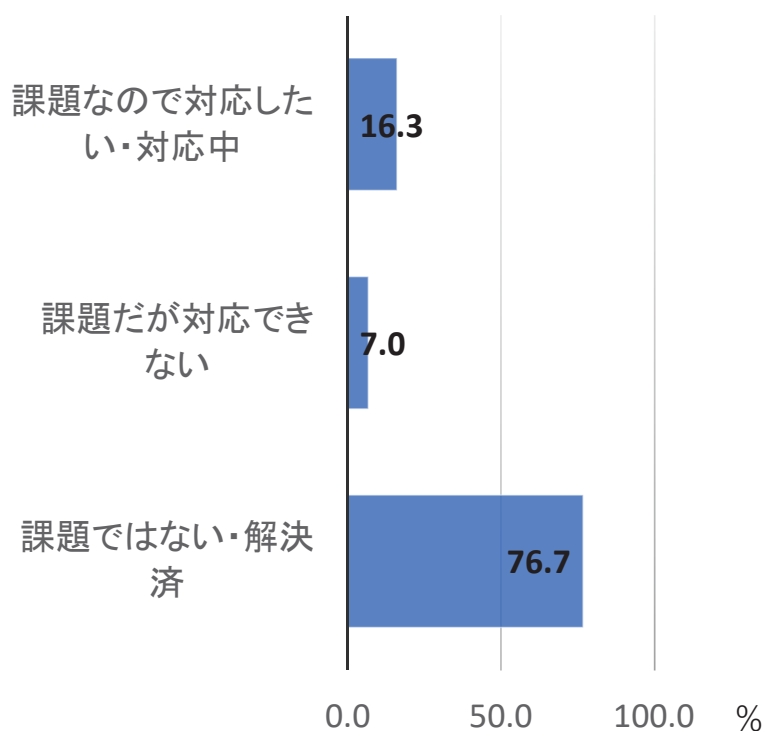
- ・ LED化などの環境整備への対応
- ・ 専任者を設ける
- ・ 今後の施設の在り方を地区民で検討 など

Q2-⑨-2 対応できない理由

- ・ 予算を確保できていない
- ・ 会員の減少による修繕の機運の低下 など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑩ 規約の作成や見直し



規約の作成や見直しについては、課題感が少ない

規約の作成や見直しについて、「課題ではない・解決済」が76.7%である。次いで、「課題なので対応したい・対応中」が16.3%である。

自由記述まとめ 「⑩ 規約の作成や見直し」

Q2-⑩-1 対応したい内容、対応中の内容

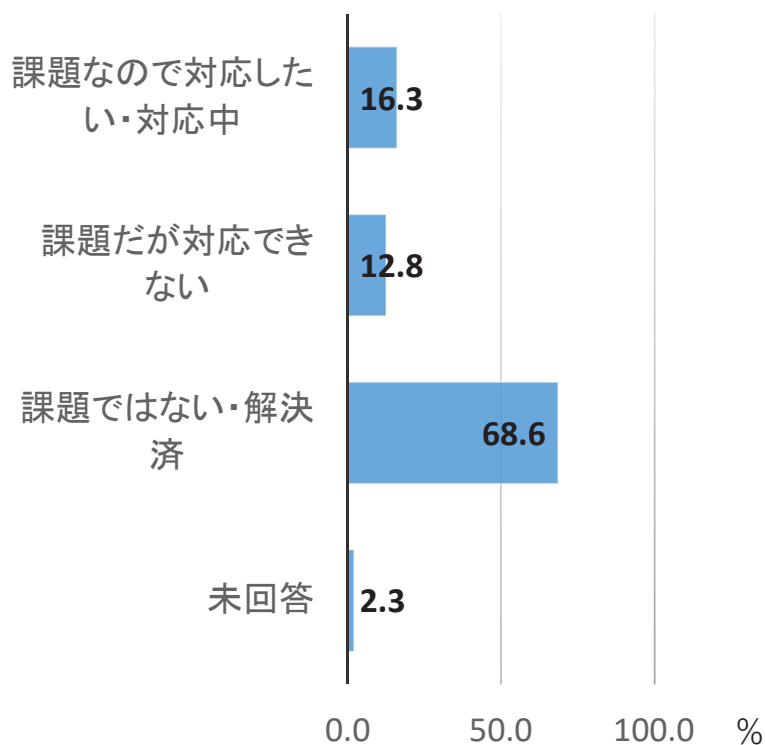
- ・ 役員の選出など時代に合わせた変更をしたい など

Q2-⑩-2 対応できない理由

- ・ (規約など事務作業の) 素人なので、対応できない など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑪ 会員同士のコミュニケーションの活性化



会員同士のコミュニケーションの活性化については、課題感が少ない

会員同士のコミュニケーションについて、「課題ではない・解決済」が68.6%で最も多い。

次いで、「課題なので対応したい・対応中」が16.3%である。

自由記述まとめ 「⑪ 会員同士のコミュニケーションの活性化」 Q2- ⑪-1 対応したい内容、対応中の内容

- ・ 主体的な活動への見直し など

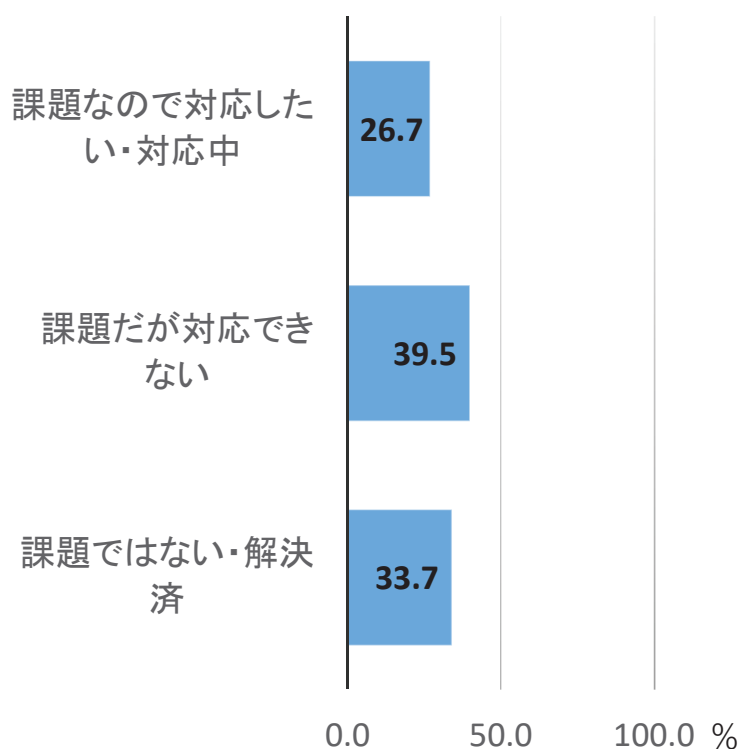
Q2- ⑪-2 対応できない理由

- ・ 時代錯誤
- ・ 個人主義の増加

など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑫ 会員への情報発信方法のデジタル化



会員への情報発信方法のデジタル化については、課題感を持つが、対応できないと回答する役員のほうが多い。

会員への情報発信方法のデジタル化について、「課題がある」と感じている役員の割合は66%である。「課題だが対応できない」39.5%で最も多い。

※「課題がある」：「課題だが対応できない」・「課題なので対応したい・対応中」の回答数を合算したもの

自由記述まとめ 「⑫ 会員への情報発信方法のデジタル化」 Q2-⑫-1 対応したい内容、対応中の内容

- ・ SNSの活用 など

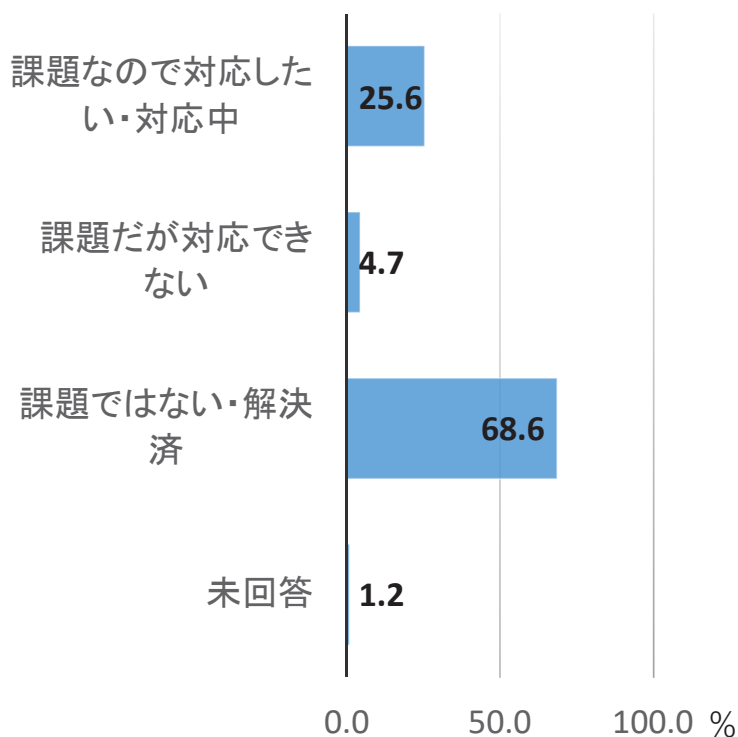
Q2-⑫-2 対応できない理由

- ・ 紙媒体の併用になるため、負担の増加
- ・ 知識不足

など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑬ 会員からの要望や苦情への対応方法



会員からの要望や苦情への対応方法については、課題感が少ない

会員からの要望や苦情への対応方法について、「課題ではない・解決済」68.6%である。次いで、「課題なので対応したい・対応中」25.6%である。

自由記述まとめ 「⑬ 会員からの要望や苦情への対応方法」 Q2-⑬-1 対応したい内容、対応中の内容

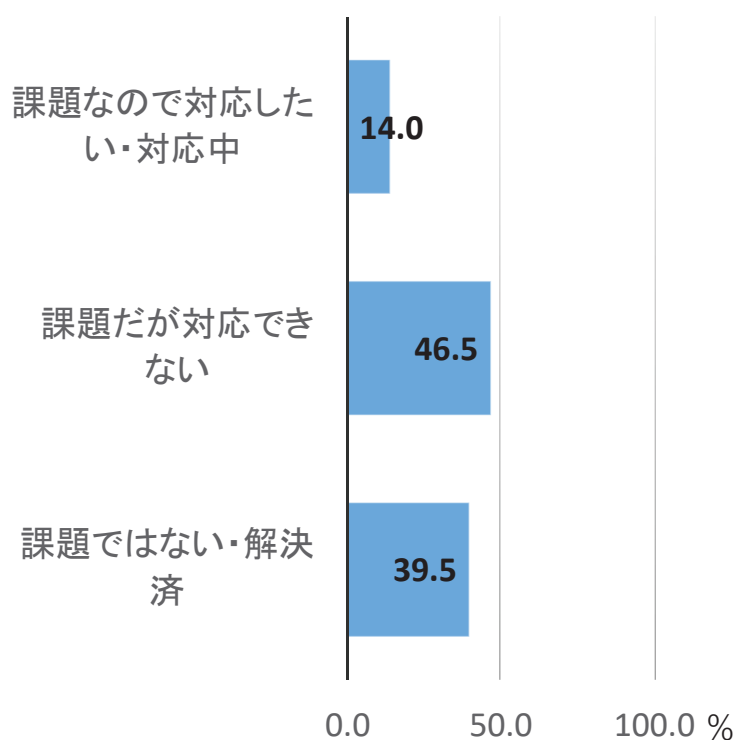
- ・ 随時対応
- ・ 内容に応じて市の関係各課へ相談 など

Q2-⑬-2 対応できない理由

- ・ いろいろあり対応しきれない など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑭ 非会員の加入活動



非会員の加入活動については、課題感を感じる一方、対応できないと回答する役員が多い

非会員の加入活動について、「課題だが対応できない」46.5%で最も高い。次いで、「課題ではない・解決済」が39.5%である。

自由記述まとめ 「⑭ 非会員の加入活動」 Q2-⑭-1 対応したい内容、対応中の内容

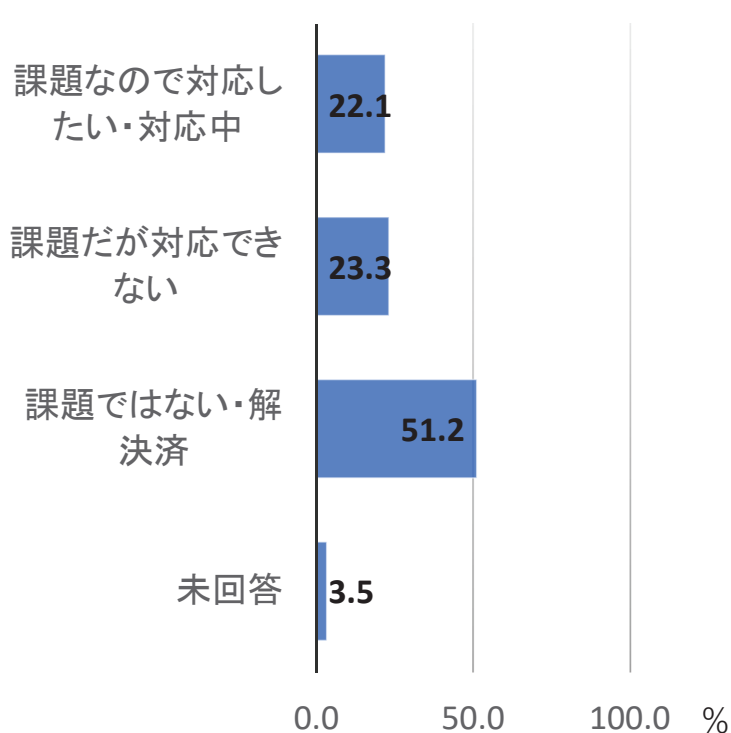
- ・ 転入者への加入依頼
- ・ 不動産業者への理解 など

Q2-⑭-2 対応できない理由

- ・ 強制できない、自治会の魅力を発信できていない
- ・ アパート住民や外国人へのアプローチができていない
- ・ 自治会役員と現場（区長・組長）とコミュニケーションが取れていない など

Q2 自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか。

⑮ 行政からの依頼事項の対応



行政からの依頼事項の対応については、「課題がある」※と回答する自治会役員が45.4%

行政からの依頼事項の対応について、「課題ではない・解決済」51.2%で最も高い。

しかし、「課題がある」と感じている役員数は45.4%である。

※「課題がある」：「課題だが対応できない」・「課題なので対応したい・対応中」の回答数を合算したもの

自由記述まとめ 「⑮ 行政からの依頼事項の対応」

Q2-⑮-1 対応したい内容、対応中の内容

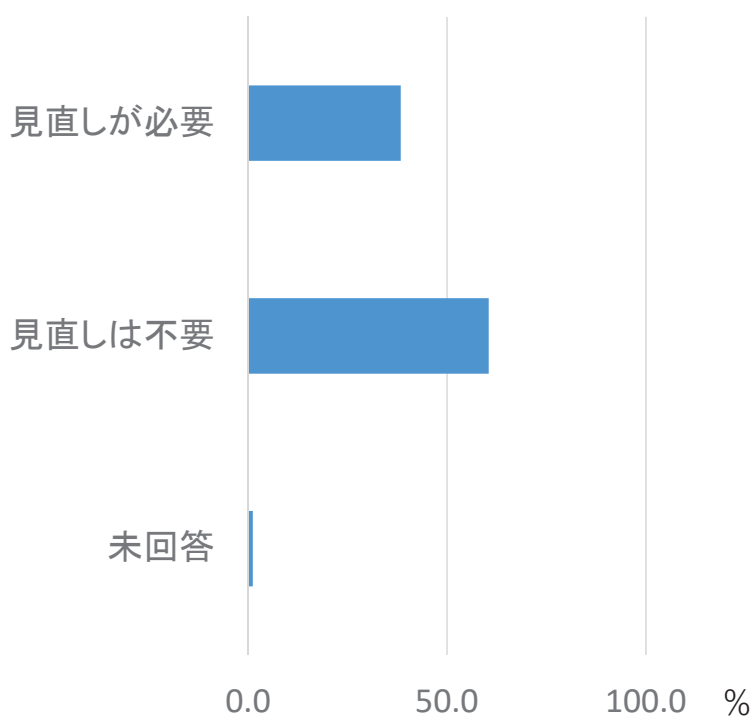
- ・ メールでの対応
- ・ 郵送物が多いため、必要に応じて処分 など

Q2-⑮-2 対応できない理由

- ・ 人手不足 など

Q3 自治会活動の中で、見直しが必要なものは何ですか

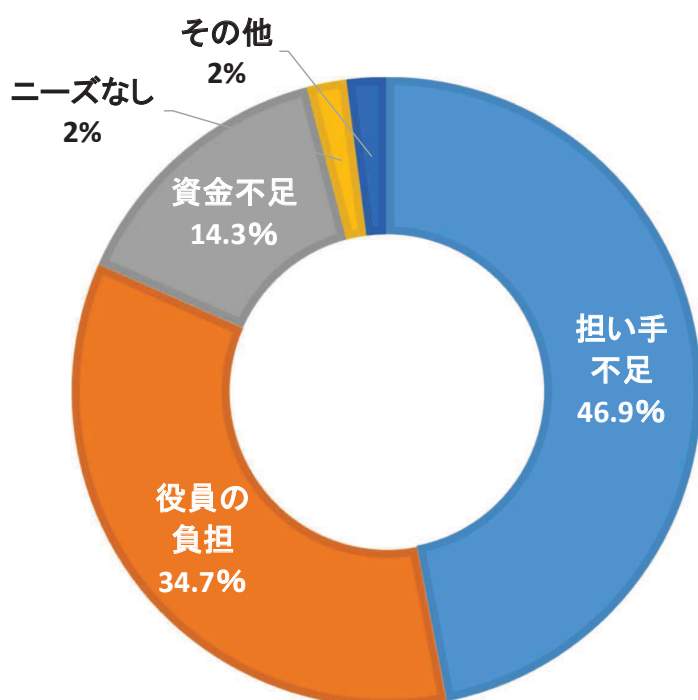
① 防犯・交通



防犯・交通について、
「見直しが必要」 38.4%
「見直しは不要」 60.5%

Q3 ① 防犯・交通

見直しが必要な理由 n = 33

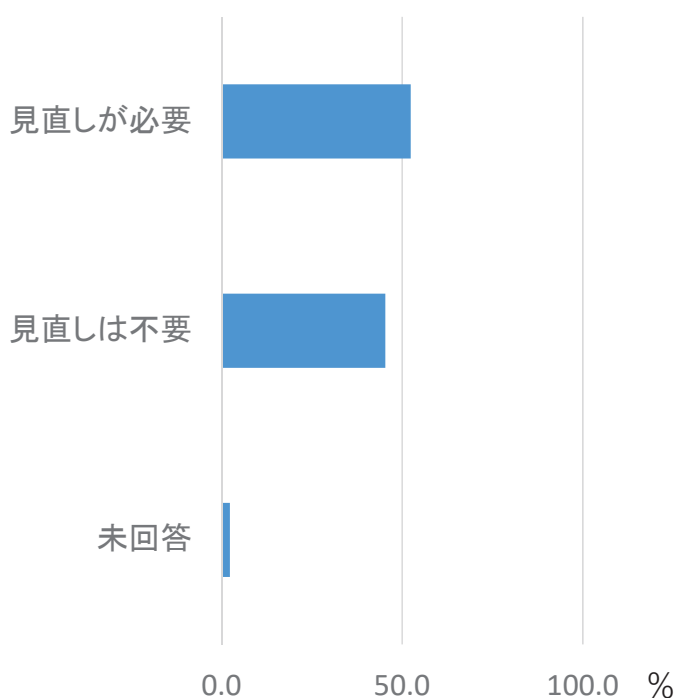


見直す必要と考える役員は、
「担い手不足」を理由としてい
る。

見直しが必要と回答の理由として、
「担い手不足」46.9%で、最も多い。
次いで「役員の負担」34.7%である。

Q3 自治会活動の中で、見直しが必要なものは何ですか

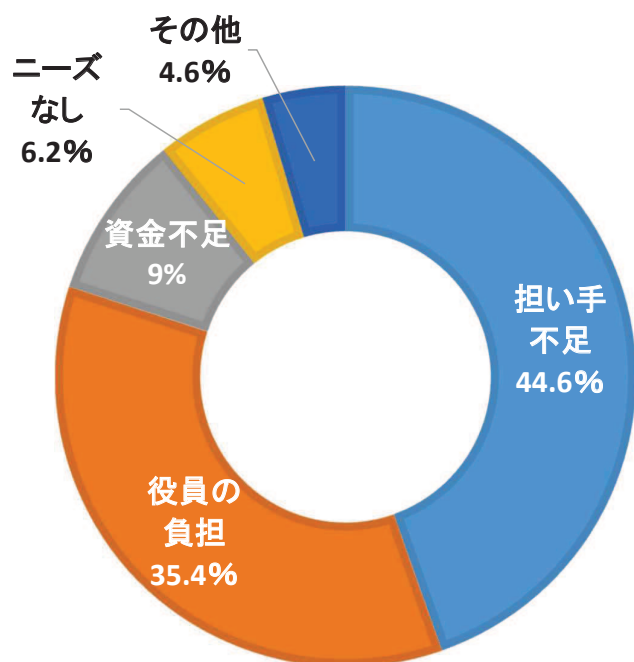
② 高齢者等福祉や子どもの見守り活動



高齢者等福祉や子どもの見守り活動について、
「見直しが必要」 52.3%
「見直しは不要」 45.3%

Q3 ② 高齢者等福祉や子どもの見守り活動

見直しが必要な理由 n = 45

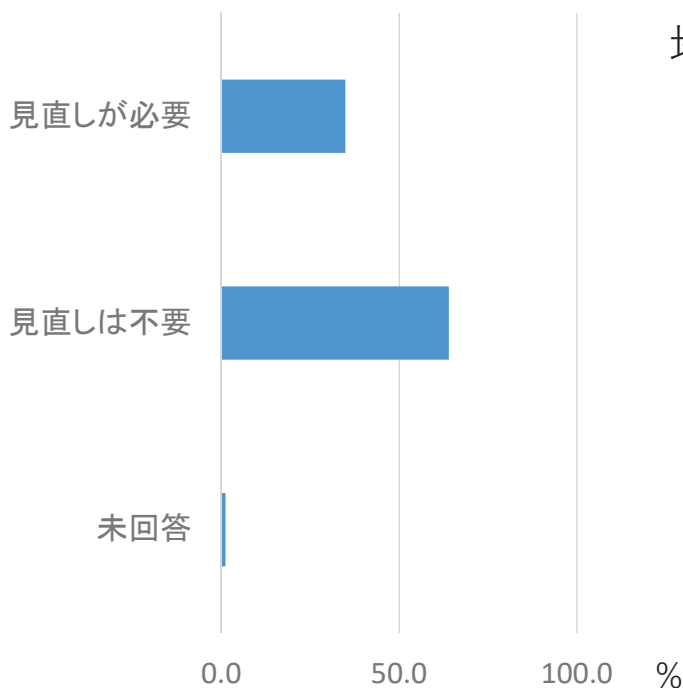


見直す必要と考える役員は、「担い手不足」を理由としている。

見直しが必要と回答の理由として、「担い手不足」44.6%で、最も多い。次いで「役員の負担」35.4%である。

Q3 自治会活動の中で、見直しが必要なものは何ですか

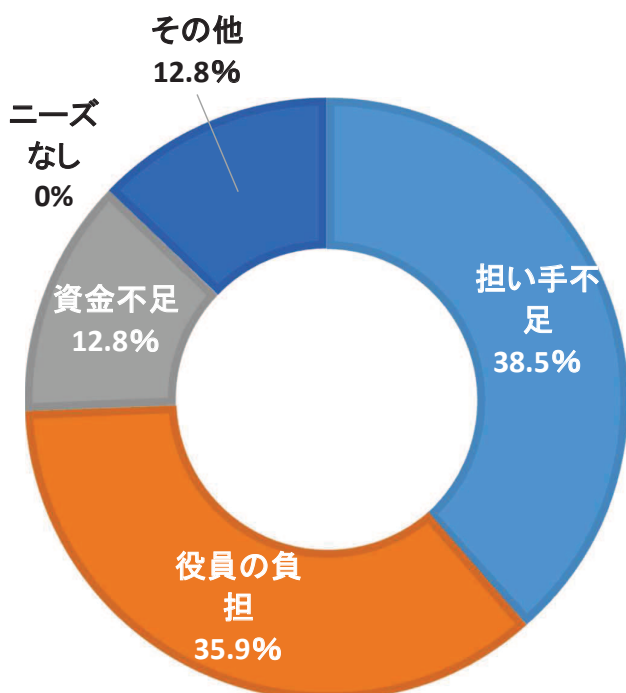
③ 地域の清掃活動



地域の清掃活動について、
「見直しが必要」 34.9%
「見直しは不要」 64.0%

Q3 ③ 地域の清掃活動

見直しが必要な理由 n = 30



見直す必要と考える役員は、「担い手不足」を理由としている。

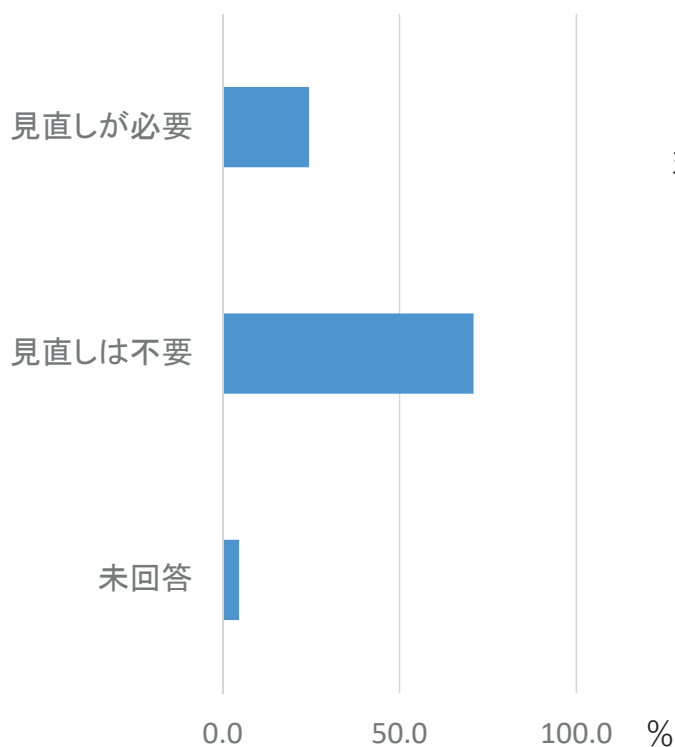
見直しが必要と回答の理由として、「担い手不足」38.5%で、最も多い。次いで「役員の負担」35.9%である。

「その他」の記述

- ・高齢化により時間、範囲、内容が負担
- ・シルバー人材センターに委託できないか
- ・町内会と行政とで直接調整してほしい

Q3 自治会活動の中で、見直しが必要なものは何ですか

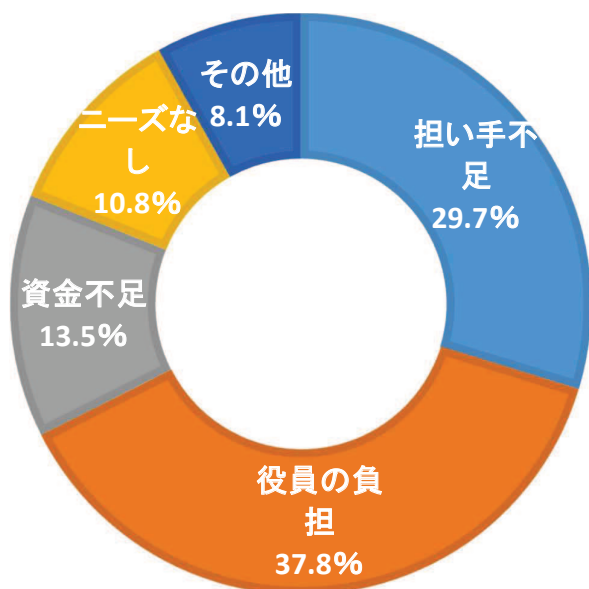
④ 親睦・交流イベント



親睦・交流イベントについて、
「見直しが必要」 24.4%
「見直しは不要」 70.9%

Q3 ④ 親睦・交流イベント

見直しが必要な理由 n = 21

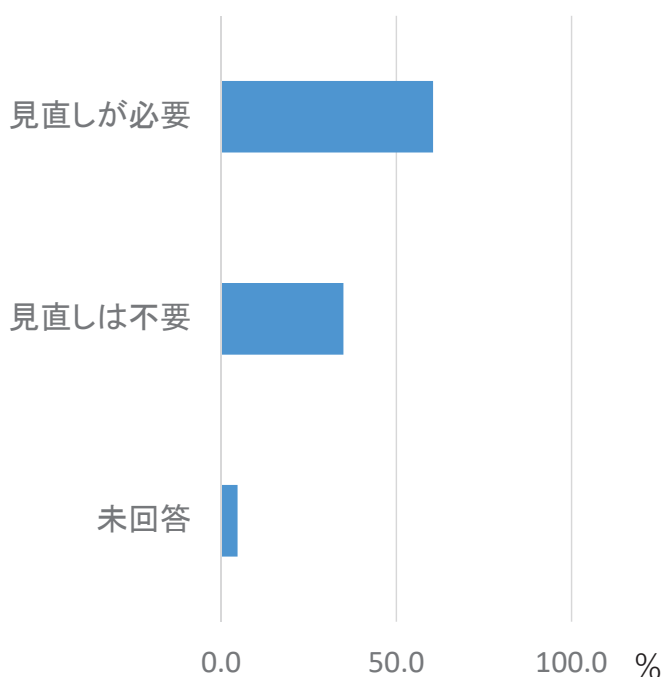


見直す必要と考える役員は、
「担い手不足」を理由としている。

見直しが必要と回答の理由として、
「役員の負担」37.8%で、最も多く割合を占めている。
次いで「担い手不足」29.7%である。

Q3 自治会活動の中で、見直しが必要なものは何ですか

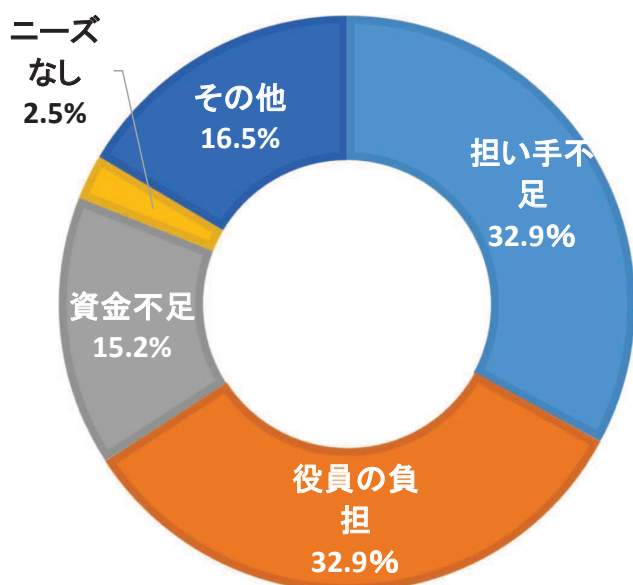
⑤ 防災に関する活動



防災に関する活動について、
「見直しが必要」 60.5%
「見直しは不要」 34.9%

Q3 ⑤ 防災に関する活動

見直しが必要な理由 n = 52



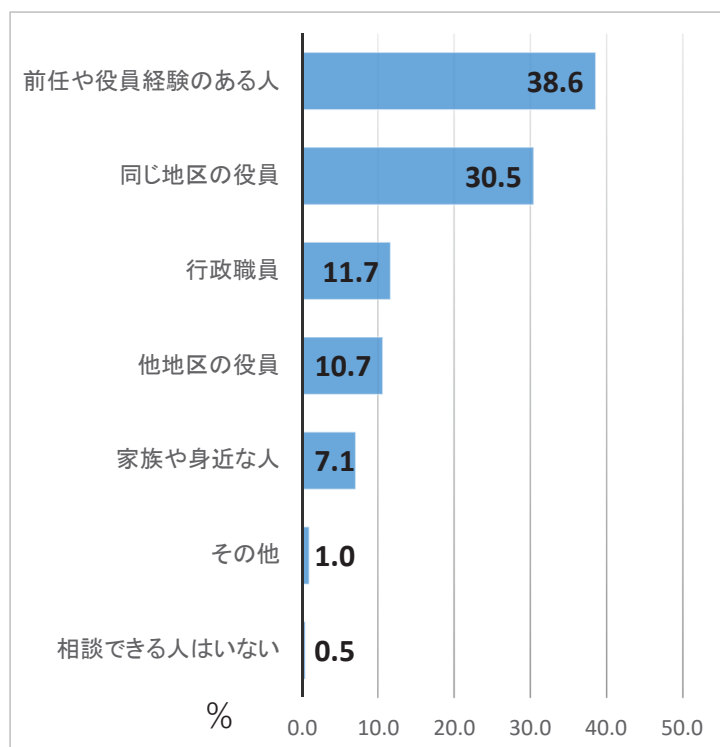
見直す必要と考える役員は、
「担い手不足」を理由としている。

見直しが必要と回答の理由として、
「担い手不足」 32.9%と「役員の負担」 32.9%で、同率で最も多い。

「その他」記述

- ・ 訓練内容のマンネリ化
- ・ 防災スキルの向上 など

Q4 自治会運営・活動に携わる際に相談できる人（複数回答可）



同じ地域の役員経験者に相談する現役役員が多い。

アンケート回答した役員の場合、「前任や役員経験のある人」が38.6%で最も多い。次いで、「同じ地区の役員」が30.5%である。さらに、複数回答可のため、「相談できる人」を2つ選択した役員が43.4%で最も高く、次いで3つ選択した役員が23.7%であった。